

提 案 の 概 要

施設名：東山スカイタワー

団体名：サンエイ株式会社

※複数の団体により構成されるグループは各構成団体の名称もあわせて記入する。

(1) 管理運営全般について

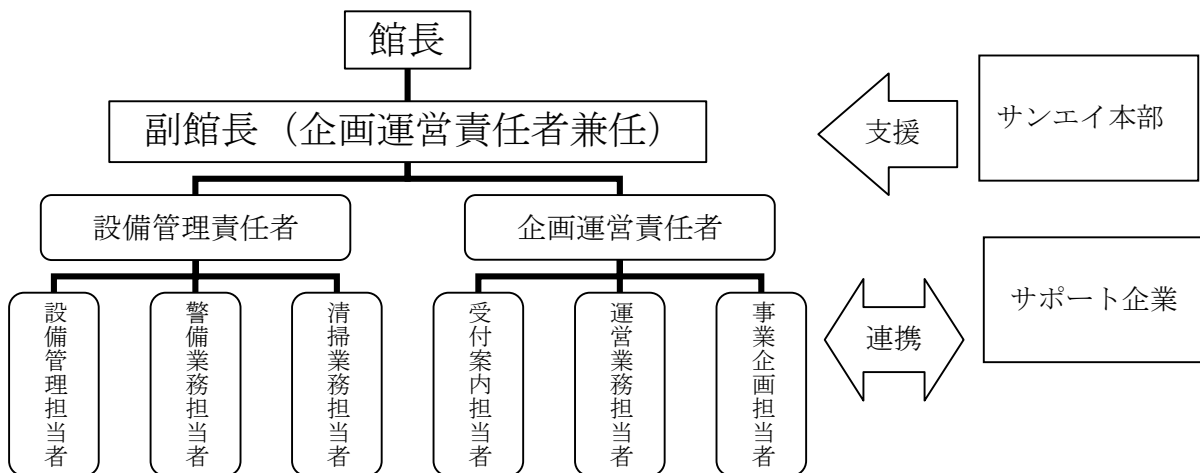
① 施設の管理運営に対する方針等

- ・東山動植物園との連携を深め、本施設が東山動植物園の魅力の一つとしての役割、展望施設としての役割、地域のシンボルタワーとしての役割、観光施設としての役割、防災無線中継基地としての役割を活かすことで、動植物園と一体で更に魅力ある施設づくりに努める。

②管理運営体制

<職員配置体制及び管理体制>

- ・館長に各業務の情報を一元化し、全業務を俯瞰することで、各業務の相互連携と効率化を図る。



<人材育成>

- ・各スタッフの最適な管理遂行の根幹である人材基盤育成の為、体系的な研修計画を策定し、サービスレベルのスパイラルアップを図る。
- ・また資質向上・人材形成も目指し、社内OJT研修等の研修を実施。

<災害時の危機管理体制及び事故発生時の対応方針>

- ・本施設に勤務する全スタッフによる防災訓練を年2回実施しており、指導員は弊社より派遣し、具体的かつ実態に基づく「避難計画」を用いて、職員への防災管理の理解度を高める。
- ・貴市の情報伝達訓練に参加し、災害発生時に併設する動植物園とも連携を強化する。災害発生時にも常に貴市各施設と連絡を取り合いながら迅速に行動がとれる体制を構築する。

<施設維持管理業務>

- ・施設の設置目的を達成するために、維持管理水準表に記載された内容を確実に実施することは勿論のこと、施設全体及び設備の状態を常に把握し、安全・安心を第一とした保守点検業務を実施。
- ・美観の維持については業務水準表の回数に拘らず、巡回清掃スタッフ（クリーンキャスト）による清掃と全スタッフによる巡回対応により定常的な美観度の維持に努める。

(2) 実施業務の計画について

① 指定管理業務

<市民連携及び地域連携>

- ・2階遊休スペースを有効活用して自主的に企画した市民共同コンサート等のイベントを開催。
- ・スカイレストラン及び展望室の利用者を対象とした一般団体による演奏会実施。
- ・地域のシンボルタワーとしての価値を創出・向上させるため、近隣の商業施設及び大学や地域団体との事業を展開する。

<利用者意見の聴取及び反映方法>

- ・市民、来館者のニーズの収集の為、定期的なアンケート及び施設ホームページへの投稿フォーム設置。また日常接客から得たご意見・ご要望をメモし全スタッフに回覧。
- ・毎日の朝礼時に前日頂いたご要望・ご意見に対して即対応できるものは即時対応。
- ・隔週及び年度に実施する業務改善定例会時に改善項目の洗出し・対策協議を実施。

<利用促進策（PR 策）>

- ・動植物園からの誘致を強化するため、園内及び園周辺での本施設案内看板等の設置。
- ・スカイタワー前駐車場入り口、スカイタワー前駐車場、上池駐車場の指定管理エリア外にある、遊休資産（タワー案内表示）を積極的に活用し施設 PR を図る。
- ・園外での広報 PR としてショッピングセンター等の催事 PR 活動に参加協力。
- ・名古屋コンベンションビューローを加えた、市内の観光施設と連携を図り、情報共有及び協働 PR を実施。また県外への誘致活動も行います。

② 自主事業（実施している場合）

<スカイレストラン及びアトリエシエール>

- ・これまでの7年間のレストラン運営で蓄積してきたノウハウで作り上げた営業形態でお客様のニーズに沿った料理・サービスの提供。
- ・無料休憩コーナー内の遊休スペースを活用した、スイーツショップの設置、東山ハニー生産者とのコラボによる新商品スイーツ等の販売。

<スカイショップてんくう>

- ・定番の名古屋土産、東山動植物園グッズ、タワーオリジナルグッズなど取り揃えて、観光施設、動植物園関連施設、タワー独自の魅力という多様な要求に応えた店づくりを実施。

(3) 収支計画について

①管理運営にかかる費用等

<各年度ごとの提案総額（各年度ごとの総計）>

年 度	金 額
平成 30 年度	90,953 千円
平成 31 年度	90,953 千円
平成 32 年度	90,953 千円
平成 33 年度	90,953 千円
合 計	363,812 千円

<期間を通じた収支計画（指定期間を通じた項目別内訳）>

【収入】 (単位：千円)

区 分	金 額
指定管理料	90,953
収益事業還元金	1,500
収入合計	92,453

【支出】 (単位：千円)

区 分	金 額	備考
人件費	39,959	
消耗品費、備品購入費等	2,570	
光熱水費	0	名古屋市負担
清掃費	2,500	
建物管理費	6,480	
植物管理費	0	常駐スタッフにて実施
設備保守点検費	5,277	
修繕工事費	5,554	
イベント・催事費	5,349	
広報・宣伝費	4,834	
事務管理経費	972	
協賛・負担金等	572	
受付・案内業務	13,166	
一般管理費	5,220	
租税公課等	0	
支出合計	92,453	

※額には消費税及び地方消費税を含む。

<経費削減の取組み>

- ・設備保守点検については、本部の多能工技術者によるメンテナンス業務をトータルのマネジメントすることで、「ムリ・ムラ・ムダ」を排除し、合理的で経済的な管理業務を行う。
- ・繁忙時には、本部サポートスタッフによる臨機応変な応援体制を築き、常駐人件費の抑制を図る。